

	生徒と教師の合い言葉 ～気づき、考え、実行する～ 裏磐梯中学校だより 令和6年1月号 https://kitashiobara.fcs.ed.jp 発行者：校長 斎藤 一範
---	--

第3学期始業式から～令和6年がスタートしました～



令和6年1月9日（火）から第3学期がスタートしました。始業式では、3年生には、大切な分岐点となる高校入試に向けて、学年全員で目標を達成する雰囲気を含めて以上に大切にしてほしいことを伝えました。全校生には、3学期に意識してほしいこととして、「全校生で思いのこもった卒業証書授与式を創り上げること」と「当たり前のことを当たり前に行うこと」の2つを話しました。また、年末のNHKの番組で「YOASOBI」が曲「HEART BEAT」を18歳世代の1000人と一緒に歌った様子が放映され、歌声から一人一人の思いが伝わってきて私自身がとても感動したことを紹介し、卒業式では、皆さんの思いを歌で保護者の皆様や地域の皆様に伝えてほしいことを話しました。



代表生徒による「新年の抱負」の発表もあり、3年生代表の伊藤さんが冬休みの学習への取組をよく振り返り、この3学期の受験に向けた学習への意気込みをしっかりと話すことができました。冬休みは大きな事故や怪我なく、3学期の良いスタートをきることができました。保護者の皆様のご支援に感謝申し上げます。

3学期は51日間（3年生は45日間）と短いですが、子どもたちが満足感・達成感を味わい、充実した学校生活を送ることができるよう、保護者の皆様、地域の皆様と連携を図りながら教育活動を進めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

東北中学校バドミントン選手権大会 大健闘!!



12月26日（火）から28日（木）までの3日間、東北中学校バドミントン選手権大会が青森県黒石市で開催されました。東北各県の予選を勝ち抜いた強豪が集まる中でも、子どもたちは臆することなく戦い抜き、男子個人戦シングルスでは、冬磨くんがベスト16、男子団体戦ではベスト8というすばらしい結果を残しました。特に団体戦2回戦の山形県第一代表との試合では、最終ゲームまでもつれる大接戦でしたが、集中力をきらすことなく戦い、勝ちきることができました。相手に何度もセットポイントを奪われながらも声を掛け合い、気持ちを奮い立たせながら頑張る姿に胸が熱くなりました。



大会には、遠方での開催にも関わらず、たくさんの保護者の皆様に温かい声援をいただきました。ありがとうございました。また、大会に向けて、バドミントン部OB会の皆様、教育委員会の皆様にご支援いただいたことにも深く感謝申し上げます。



福島県中学校体育大会スキー競技（アルペン競技）



1月10日（水）から3日間、福島県中学校体育大会スキー競技がネコマウンテンスキ場を会場に行われ、本校からは、佐藤くんがジャイアントスラロームとスラロームの2種目に出場しました。佐藤くんはこれまで雪のない期間も陸上部や特設駅伝部の活動を通して足腰を鍛え、全国大会出場という目標に向かって努力を積み重ねてきました。惜しくも目標には届きませんでしたが、最後まで力強く、気持ちを込めて滑りきる姿が印象的でした。よく頑張りました。お疲れ様でした。